

# 高根沢町の歌 ① 唄／静 太郎

広瀬鏡男 作詩／星野哲郎 補作詩／船村 徹 作曲／薫 将包 編曲

高根沢 きぼうの町よ  
春くれば 井沼ゆたかに  
水温み 萌ゆる野の幸  
そこかしこ れんげ花咲き  
霧はれる 霧のかなたに  
山鳩の こえもほろほろ

高根沢 ひかりの町よ  
夏くれば 鬼怒の流れに  
はるかなる 那須の山肌  
しあわせの みどりあふれて  
早苗とる 野辺の乙女の  
うたたのし ゆめのふるさと

高根沢 みずほの町よ  
秋くれば ゆれる田の面に  
下野の 赤い夕日が  
若者の 頬にかがやく  
風わたる 風にさやさや  
幸を呼ぶ 黄金の穂波よ

高根沢 こころの町よ  
冬くれば ほた火とろとろ  
この町は 母なる町よ  
こな雪の つもる窓辺に  
五行川 しずかにながれ  
明日もまた いきるよろこび

